

連合県北地域協議会ニュース

N09

《 フードバンク岩手・子供の貧困への支援活動 》

県北地域協議会主催で二戸 & 久慈地区労働者福祉協議会から協賛をしていただき7月14日を締切として各幹事組合から食糧品の提供をしていただき、7月21日にフードバンク岩手に届けさせていただきました。給食のない夏休みに子供たちが食事に困らないようにしよう！と日程決めをし、実施いたしました。

JP労組県北支部は組織的に取り組んでいただき多数の提供をしていただきました。PJ二戸フーズ労組からは支援金をいただき、食料品とともにフードバンク岩手の昆志織さんに手渡しをいたしました。配送時には車のリアスペースでは収まりきれず、リアシートと助手席にも積み込んで移動しました。ご協力いただいた幹事組合の皆さん、ありがとうございます。

岩教組(九戸)からの一部



多数の食料品

JP県北支部の中田委員長より



PJ二戸フーズ支援金を昆さんへ

昨年末の幹事会でフードバンク岩手のチラシを配布しました。その時に配布だけで各組合がしっかりと対応できるのか？地協幹事会がリードを取って、組織的に活動を行うべきではないのか！と提案を受けて、初めての実施となりました。提案をしてくれた幹事に感謝しています。

協力組合

岩教組県北支部(九戸)
JP労組県北支部
東北電労二戸支部(久慈地区)
県職員労働組合久慈支部
PJ二戸フーズ労組
東京銀座ファッションユニオン
二戸市職員労働組合
連合岩手県北地域協議会



銀座山形屋グループ労組協議会「被災地視察&夏期研修会」

7月7日～7月9日

たろう観光ホテルでのDVDは改めて震災の大きさを感じさせる衝撃的なものでした



労働者・組合員の目線で活動を！

地殻変動の距離2.18m



夏期研修会に先駆けて、震災から6年3ヶ月経過した被災地の現状を目で見て把握したいと、視察への依頼がありました。

宮古地協と連絡を取り合いながら宮古観光文化交流会の小幡実さんから震災時から現状までの説明を行っていただきました。

震災を直接体験した小幡さんの説明は、視察チームの皆さんの心にも強く伝わり、早期復興の重要性を再認識されました。

翌日の夏期研修会では「連合地協について」1時間の時間を頂き講義を行いました。

参加のの北海道・東京・福岡・岩手の皆さんに地協活動へ更なる協力をお願いするために、地協の目的・役割についてと、その為の現状の問題点等についてお話をさせていただきました。



